



1 雇用の確保

町としては、人口減少を食い止め、雇用の場を増やすため、南黒田工業団地の整備事業を行っています。今年度、立地企業の募集・選考を行い、令和10年度に立地企業に土地を引き渡す予定で事業を進めています。

また、附属機関である中小企業振興審議会の意見を踏まえながら、既存企業の労働環境改善や人材確保の取組に対する支援を行うなど、雇用の創出促進に取り組んでいきたいと考えています。

2 おむつ代補助の強化

出産を希望する方が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、平成29年度から第2子以降の乳児を対象に愛媛県と連携して「愛顔っ子応援券（5万円のおむつ購入券）」の交付を始めました。

これに加え、令和6年度からは町独自の事業として、これまで助成対象外であった第1子の乳児も対象に加えました。

今後も、安心して子育てができる環境づくりに努めます。



3 (1) 防災教育

小中学校では、例年3月に防災給食を提供し、児童・生徒の皆さんに防災について学んでいただくとともに、栄養教諭が作成した給食だよりに防災備蓄品のローリングストックの考え方を掲載するなど、防災に関心を持てるような取組を行っています。

また、要望のあった中学校には、総合学習として防災授業（講座）を実施しています。

災害や防災について理解し命を守る行動につなげる防災教育は、非常に重要であると考えており、町内各小中学校において、避難訓練やシェイクアウト訓練を実施するとともに防災講座を開くなど、様々な機会を設けて防災教育を行っています。

学校では、授業時間数が限られているため、今以上に防災についての授業時間を増やすことは難しいことから、分かりやすい教材を使ったり、専門家を招いたりするなど、限られた時間でできるだけ効率的・効果的な授業となるよう努めていきたいと思っています。



3 (2) 教育の充実

学校における教育や活動を実りあるものとするためには、教員、保護者、地域の皆さまのご協力が欠かせないと考えています。現在も松前町独自の教育として、学校行事等の特別活動や、地域の方や専門家などを講師としてお迎えしての「名人さんに学ぼう」や「米作り」など、学校や地域の皆さまとの連携や協力を図りながら、学校活動を充実させていきたいと考えています。

また、学校に来られないお子さんや、学級に入りづらいお子さんなどへの支援についても、校内のサポートルームの設置など、力を入れていきたいと考えています。

4 調整区域の見直しに対する町長の考え

市街化区域の拡大については、将来の人口減少が想定されている状況で、新たに住宅用地を求める方については、現在の市街化区域内で収容が可能であるとの見解が愛媛県から示されています。

しかしながら、住宅用地の確保が必要と判断した場合には、町で定めることができる地区計画を活用し、住宅用地への可能性を検討したいと思っています。